

埼玉県・市町村・市町村民会議等における青少年への体験活動の概要

1 埼玉県の主な取組

部局	事業名	概要	区分等
教育局	埼玉の子供 70 万人 体験活動	<p>子供の社会力と豊かな人間性の育成を図るため、すべての小・中・高校生に対する体験活動の機会の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての小・中学生、高校生が、在学中に自然体験、職場体験、勤労・生産体験、社会奉仕体験を行うなど、発達段階に応じて様々な体験活動を進める。 小学校では、自然体験など発達段階に応じた体験活動を行います。また、高学年において「職業に触れる体験」を行う。 中学校では、各学校の特色ある体験活動の充実に取り組みます。また、企業や施設などでの職場体験など、勤労観・職業観を養う体験活動の 5 日間への拡充を目指す。 高等学校では、豊かな人間性や社会性を身に付け、将来における自己実現の探求ができるよう、在学中に 5 日の体験活動を教育課程に位置付けて行う。 	生活・文化体験活動/自然体験活動/社会体験活動
	げんきプラザ	<p>集団宿泊活動、自然体験活動等を通じて、青少年の健全な育成を図るとともに、県民の生涯学習活動の振興に資する社会教育施設で、県内に 6 箇所（加須、大滝、長瀬、小川、神川、名栗）設置している。</p>	自然体験活動
県民生活部	青少年総合野外活動センター	<p>自然の中で集団による野外活動を行う機会を提供することにより、青少年の健全育成を図るため、秩父市にセントラルロッジ、ログハウス、常設テントなどを備えた施設を設置している。</p>	自然体験活動
県民生活部	夢のかけはし・ 夢の配達便	<p>子供たちの夢の発見や実現を支援するため、様々な分野で活躍する埼玉ゆかりの一流プロフェッショナルなどによる学びや体験の教室を実施する。</p> <p>また、県がつなぎ役になって、青少年が学び・体験する教室の講師を、県内各地の団体等に派遣する。</p>	社会体験活動

県民生活部	生活科学センター	川口市の SKIP シティに設置されている「彩の国くらしプラザ」において、消費生活について楽しく、わかりやすく学べる場として参加体験型の展示を行う。	社会体験活動/ 生活・文化体験活動
福祉部	彩の国ボランティア体験プログラム	～子どもから大人まで、だれもが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのために、さまざまな体験メニューを用意して、市町村社会福祉協議会などが実施するプログラム。	社会体験活動/ 生活・文化体験活動
農林部	学校ファーム	学校ファームは、学校単位に農園を設置し、心身共に発育段階にある児童・生徒が農業体験活動を通じて、生命や自然、環境や食物などに対する理解を深めるとともに、情操や生きる力を身につけることをねらいとして実施している。	自然体験活動/ 社会体験活動
産業労働部	ものづくり体験教室	次代を担う小・中学生が、技能士の優れた技能に触れつつ、その指導のもと、実際に各種のものづくりを体験することにより、ものづくりの喜び、感動、さらには技能の重要性、素晴らしさを体感することを目的として実施する	社会体験活動
産業労働部	インターンシップ・ジョブシャドウイングプログラム	勤労意識を高め、企業への理解を促進するため、大学生を対象とした県内企業におけるインターンシップの実施や、高校生を対象としたジョブシャドウイングプログラムなどを実施する。	社会体験活動
環境部	環境科学国際センター	児童・生徒をはじめ、広く県民が気軽に環境問題に興味を持って学べる体験学習ができる場の提供や各種環境講座を設けて環境問題を理解する機会の提供、さらには県民実験室、研修室、情報コーナーなどを設けて県民の環境保全活動を支援する。	自然体験活動
	環境学習応援隊	環境問題に関心の高い企業等を「環境学習応援隊」として登録し、企業の持つノウハウや環境学習プログラム、学習教材などを提供いただき、総合的な学習や理科、社会科、家庭科などの授業で取り組む環境学習を支援する	自然体験活動

	自然学習センターなど自然学習施設	<p>自然に対する理解を深め、自然保護の啓発普及を図るための施設として、「自然学習センター（北本市）」、「狭山丘陵いきものふれあいの里（所沢市）」、「さいたま緑の森博物館（入間市）」などを開設している。</p> <p>各施設では、自然観察会や体験教室などの自然に関するイベントを実施している。</p>	自然体験活動
保健医療部	人と動物のふれあい教室	<p>小・中学校からの依頼により、人と動物のふれあい教室を開催し、動物を慈しむ心を育み、命の大切さや思いやりの心を醸成する。</p>	自然体験活動

2 市町村・青少年育成市町村民会議の主な取組（学校関係を除く）

市町村	事業名	概要	区分等
川越市	川越市少年の翼事業	川越市と友好都市である北海道中札内村などに、中学3年生44名を派遣し、現地中学生との交流・野外活動を通じ、次世代リーダーとなることを目的に実施	自然体験活動
	子育て体験学習事業	中学生を対象に、赤ちゃんに接したり、育児の様子を子育て中の母親から聞いたりする機会を提供し、母性・父性の育成を支援する	生活・文化体験活動 社会体験活動
川口市	子ども自然体験村	埼玉県青少年総合野外活動センターを利用して4泊5日のキャンプ生活を実施し、ハイキング、飯ごう炊さん、うどん打ち、キャンドルファイヤーなど日常生活のなかでは体験できない活動を行う。	自然体験活動
	通学合宿	子どもたちが親元から離れて、公民館等の公的施設で食事づくりや風呂等の共同生活を行いながら通学する事業を行う。	生活・文化体験活動 社会体験活動
	親と子の音楽会	親と子が音楽を通しふれあうことにより、共通した話題の中から信頼関係が醸成され、青少年の健全育成にとって望ましい家庭環境の促進を図る。	生活・文化体験活動
行田市	浮き城のまち行田こどもまつり	つくる喜び、共に遊ぶ喜びを通して、「豊かな心」を育てることを目的とする。	生活・文化体験活動

所沢市	キャンプ用品等貸出事業	市内青少年に緑と土と太陽に親しむ機会を提供し、自然の中での集団活動を促進する。	自然体験活動
	ふるさと所沢親子で再発見事業	所沢市民フェスティバルで大型所沢郷土かるた大会を実施	生活・文化体験活動
	所沢市少年野球大会	小学校3～6年生	生活・文化体験活動
	所沢市少年サッカー大会	小学校3年生～中学生	生活・文化体験活動
	所沢市青少年三道大会	市内在住、在勤、在学の青少年	生活・文化体験活動
	所沢市少年・少女球技大会	小学校3年生～高校生	生活・文化体験活動
	ジュニア卓球大会	所沢市在住・在学者	生活・文化体験活動
加須市	加須地域市民まつり（動物・昔遊びふれあい広場）	動物ふれ合いや昔遊びなどを通じて家族・地域の絆の深化を図り、青少年の健全育成が促進される環境を醸成する。	生活・文化体験活動
	音楽市場	音楽を通して、青少年の思いを感じ、家族・地域の絆の深化を図る。	生活・文化体験活動
	子ども体験・経験倍増事業	きさい元気ッズ®加須市教育委員会（騎西地域担当）及び加須市騎西青少年相談員協議会との共催により実施する。対象は騎西地域の小学校4・5・6年生及び中学生とし、7月から12月まで6回程度実施する。	生活・文化体験活動 自然体験活動
本庄市	親子名作映画劇場	幼児から中学生を対象に、親子で楽しめる名作映画を上映する。	生活・文化体験活動
	青少年育成管外研修	青少年健全育成のための研修を実施する。 〈場所〉国会議事堂等 〈対象〉中学2年生	社会体験活動
東松山市	こども工作クラブ	工作クラブ指導員の指導により、市内在住の小学生が工作の楽しさに触れながら、ハサミやカッターなどの上手な使い方等を学ぶ。	生活・文化体験活動
	ふれあい登山	市内在住の著名な登山家、大山光一さんに協力いただき、市内小学3年生～中学3年生までを対象に気軽に登山を体験してもらう。	自然体験活動
春日部市	青少年の奉仕・体験活動支援事業	市内小・中学校及び青少年関係団体が行う奉仕・体験活動をホームページ上で紹介し、青少年の体験活動やボランティア活動を促進・充実させる。	社会体験活動

	かすかべ郷土かるた大会	青少年が主体的に参加し、多くの仲間たちとの交流を図る目的から「かすかべ郷土かるた大会」を実施。	生活・文化体験活動
狭山市	狭山市綱引大会	主に小学生（5年生以上）、中学生それぞれ男女に分かれての綱引大会、青少年の心身の健全な育成と世代を越えた相互のコミュニケーションの発展に寄与することを目的とする。	生活・文化体験活動
	市長と中学生との対談	市内の公立私立中学校の代表各1名が市長と対談する。社会状況が大きく急速に変化している現在、市長と中学生が対談する機会を設け、中学生が日頃考えていることや本音に触れ、青少年の健全育成の推進を図るための一助とする。	社会体験活動
羽生市	「彩の国21世紀郷土かるた」羽生市大会	彩の国21世紀郷土かるた羽生市大会の開催	生活・文化体験活動
	わんぱくクラブ	リーダー養成のわんぱくクラブの開催	生活・文化体験活動
	通学合宿	通学合宿（ムジナもん学寮）の開催	生活・文化体験活動 社会体験活動
鴻巣市	ジュニアリーダー養成研修	子ども会活動のなかで指導的役割を担える資格をもつジュニアリーダーの養成 対象 中学1年生 実施内容 ジュニアリーダーになるための研修	自然体験活動 社会体験活動
	家族ふれあい魚釣り大会	目的 魚釣りを通して家族のふれあいを図る 対象 幼児から中学生とその家族 実施内容 自然の中魚釣りを楽しむ	生活・文化体験活動
	思春期防煙教育事業	市内13小・中学校	生活・文化体験活動
	子ども大学	郷土の歴史や産業を、講義や体験活動を通して学ぶ。	生活・文化体験活動
	家族ふれあい映画劇場	名作映画鑑賞をとおして、親子のふれあいを図る。	生活・文化体験活動
	さいたま郷土かるた鴻巣大会	郷土を学びながら、チームワーク・ルールを守ること、礼儀作法を身につける。	生活・文化体験活動
上尾市	ぐるっとくんクリーン作戦	地域の青少年と大人が協働して環境浄化活動を行いながら、地域の特色について話し合い、みんなで地域を考える。	社会体験活動
草加市	青少年活動推進事業 (黒羽ふれあい交流事業)	大田原市との交流の一環として、子ども会育成者連絡協議会との協働により、廃校となった小学校に宿泊をするとともに、農園での農作業を通じて自然体験等を行います。	生活・文化体験活動 自然体験活動

	家庭教育推進事業	親子ふれあい広場	生活・文化体験活動
	国際理解推進事業	国際交流セミナー	生活・文化体験活動
越谷市	プレーパーク運営事業	子どもたちの自主性や創造性などを育むため、常設プレーパークの開設準備に伴い、プレーパークの開催を通し多くの市民に周知するとともに、子どもたちの健全育成を推進する	生活・文化体験活動
蕨市	合宿通学	小学4～6年生を対象に、市内公民館に宿泊しながら学校に通う「合宿通学」を実施する。親元を離れて、異年齢での共同生活や体験活動をしながら通学することにより、家庭の大切さや等を理解するとともに、子ども同士のコミュニケーション能力の向上を図る。	生活・文化体験活動 社会体験活動
	わらび郷土かるた大会	改訂版「わらび郷土かるた」を使用し、「蕨市」について遊びながら楽しく学び、蕨市の自然や文化・歴史について理解を深め、郷土を愛する心を育てることを目的とし開催。	生活・文化体験活動
戸田市	夏休み社会科見学会	小学生高学年を対象に防災について、また東京の歴史と文化を学ぶ。	生活・文化体験活動
朝霞市	ふれあい体験事業	青少年が家族や地域の方々とふれあい、絆を深める機会を提供するため、「親子ふれあいハイキング」を実施する。	自然体験活動
	親子映画会	映画を通して、親子で楽しみ、語り合い、ふれあいの日を過ごす機会を提供する。	生活・文化体験活動
和光市	子どもたちと遊び	小学4年～高校3年まで対象。ジュニアリーダー育成事業。学校区と異年齢の子どもたち同士のコミュニケーションを図る。年2回実施。	生活・文化体験活動
	夏季スポーツ大会 市民会議主催	8月24日(土)実施予定。小学生対象。地域間、育てる会同士の交流のため、ドッチボール、ソフトバレーボールの試合を行う。	生活・文化体験活動
	ペタンク大会 和光市青少年を育てる会 主催	11月実施予定。小学生から保護者まで対象。3人1組のチーム対抗戦。親子、地域の交流を図る。	生活・文化体験活動
	なわとび大会	12月実施予定。小学生対象。子どもたちの体力増進と異世代のコミュニケーションを広げる場。学年別に前とび後ろとびと大縄跳び等を行う予定。	生活・文化体験活動
	空と大地の冬あそびツアー	2月実施予定。小学4年～中学3年まで対象。雪あそびや体験活動をとおして、世代、学校を異した子ども同士の交流を図る。	生活・文化体験活動

新座市	ふれあいコンサート	小学校6年生を対象としたコンサートを実施する。	生活・文化体験活動
桶川市	青少年健全育成事業 (親子ふれあいウォーク)	親子で行うウォーキングを通じて、親子のふれあいや信頼感等を高めていく機会とするとともに、青少年に対する積極的な理解を深め、青少年の健全育成を推進する。 対象 ・市内各小中学校の児童・生徒及びその保護者 実施内容 ・ウォークラリー、クイズ等 実施年2回 場所 桶川市加納地区、川田谷地区	自然体験活動
	おけがわ春のふれあいフェスタ	みどり豊かなまちの中で、様々な人々と出会い、ふれあうことを目的としたまつりを開催し、子どもたちの体験活動などの場を提供する。	生活・文化体験活動 自然体験活動
久喜市	久喜すこやかかるた大会	大会を通じ、青少年の健全育成を図る。	生活・文化体験活動
	親子ふれあいデー	親子で協力しあえるイベントを行う(そばづくり)。	生活・文化体験活動
	わくわく!どきどき子どもあそび	子どもを主体としたイベントを行う	生活・文化体験活動
北本市	ふるさと学習	あそびの学校、北本太鼓かばざくら、さくら育成事業からなっており、総合的な学習事業及び体験的な活動をとおして青少年の健全な育成と、青少年のふるさと意識の高揚をはかる。	生活・文化体験活動
八潮市	青少年指導者育成事業	ジュニアリーダー養成のための支援等	自然体験活動 社会体験活動
	青少年アニメ・アフレコ体験講座	アニメ監督や声優によるアフレコ体験やオリジナルキャラクター描きを体験する。	社会体験活動
	親子名作映画会	青少年に名作映画鑑賞の機会を提供し、その情操を高めるとともに、親子のふれあいの場をつくり、青少年の健全育成を図るため開催。	生活・文化体験活動
富士見市	市民会議事業	親子グラウンドゴルフ大会映画会夏休み宿題教室もちつき大会	生活・文化体験活動

三郷市	ジュニアリーダー養成キャンプ	異年齢の仲間たちと自然体験や宿泊研修などを通して仲間と協力する力や自立心、忍耐力等を養い、子ども会のインリーダーとしての知識や技術の習得を図る。	自然体験活動 社会体験活動
	ジュニアリーダーセミナー	レクリエーション活動や野外活動、ボランティア活動の実践等様々なプログラムを通して、地域のリーダーの役割を担うための知識や技能の習得を図る。	自然体験活動 社会体験活動
	高校生オリジナルプランナー	高校生が自ら事業を企画・運営・反省という一連の流れを実践することでボランティア団体や地域活動に活かす力を身につける。	社会体験活動
	カミングリーダー養成プロジェクト	地域において積極的に活動している青少年を対象に、自然体験活動を含む長期研修を実施することにより、次代を担うリーダーを養成する。	自然体験活動 社会体験活動
	青少年交流「集まれみさとの子」	青少年ホームを拠点に、小・中学生の代表が集い、交流を深めながら次代の要請やこれからの三郷市にふさわしいリーダーのあり方を学び、自然体験等を通して生き抜く力を養い、多くの青少年の交流を深めることをねらいに開催する。	自然体験活動 社会体験活動
幸手市	さって子どもセンター事業	子どもを対象とした体験活動の推進事業。サーチ隊（子ども編集部員）による情報紙の作成、夏休み等の休日の主催事業の実施。	生活・文化体験活動 自然体験活動
日高市	青少年育成事業	ジュニアリーダー候補生研修会の開催 春、夏キャンプを含み年8回	自然体験活動 社会体験活動
吉川市	「おふるで絆」家庭の日推進事業	市内日帰り入浴施設や銭湯の無料入浴券を配布する。	生活・文化体験活動
ふじみ野市		青少年相談員へ補助金を払い、春・夏のキャンプ、市の行事への参加などの事業を行っている	自然体験活動
伊奈町	防災キャンプ	PTA・自治会などの地域の方、消防署、防災担当と協力し、児童らが避難所生活を疑似体験することで、災害時の心構えを身に着けると同時に、協調性や集団生活の重要性を認識することを目的として開催。	生活・文化体験活動
	ふるさと伊奈ふれあいクラブ	町内の小中学校を会場に、児童生徒を対象に地域のスポーツ指導者の協力により、青少年を健全に育成する。	生活・文化体験活動
	公民館事業キッズセミナー	異年齢の子どもたちの交流を通し、学校とは異なった体験学習を経験する。	生活・文化体験活動
三芳町	子どもドッジボール大会	各地区子ども育成会対抗試合。	生活・文化体験活動

	夏休み映画会	就学前・小学校・中学校を対象に実施。	生活・文化体験活動
毛呂山町	ゆずの里ウォーク	親子のふれあいの促進、子どもたちの体力づくり等を目的に、実行委員会主催の「ゆずの里ウォーク」に参画。親子の参加の呼び水となる親子ふれあいゲーム大会を実施する。	自然体験活動
皆野町	映画鑑賞会	皆野町文化会館において映画鑑賞会を行い啓発物品及び標語入り団扇を配布。	生活・文化体験活動
長瀬町	映画会	青少年の健全育成活動映画会	生活・文化体験活動
寄居町	寄居子ども博士検定	寄居町に関する事項の検定	生活・文化体験活動
	こどもギネス大会	集団なわとびなどギネスに挑戦	生活・文化体験活動
松伏町	親子映画会	映画「忍たま乱太郎」	生活・文化体験活動

学校外の体験活動に関するアンケート調査結果の概要について

I 調査の趣旨

青少年の豊かな社会性や規範意識を育む体験活動を促進するため、県内の学校においては、「埼玉の子供70万人体験活動」として授業や行事等において、様々な体験活動が行われている。

一方で、少子化や核家族化、地域の間関係の希薄化などにより、地域での自然体験や社会体験などの機会の減少が懸念されている。

こうしたことから、学校外における体験活動の現状と参加者の意識等を調査し、今後の地域における体験活動促進のための方策の検討を行う。

II 調査の概要

1 調査方法

- (1) 小学校5年生・6年生及び中学2年生の人口比等を参考に、4地域（東、西、南・中央、北・秩父地域）ごとの調査対象学校を定める。
- (2) 調査対象学校において、クラスを単位として無記名式アンケート票を、児童・生徒、保護者に配布し、回収する。
- (3) 県において、アンケート票の集計・分析等を行う。

2 アンケート票配布・回収時期

平成25年12月～平成26年2月

3 アンケート回答数

区分	合計	東部	西部	南部・中央	北部・秩父
小学生(5・6年生)	884人	160人	255人	336人	133人
中学生(2年生)	947人	205人	286人	316人	140人
小学生の保護者	777人	155人	177人	316人	129人

【男女別】

区分	男子	女子	不明(未記入)
小学生(5・6年生)	438人(50%)	441人(50%)	5人
中学生(2年生)	482人(51%)	460人(49%)	5人

小学生の保護者	父	母	その他	不明(未記入)
	54人(7%)	716人(92%)	3人(1%)	4人

Ⅲ 集計結果の概要

1 学校外の体験活動について

(1)直近2年間での体験活動への参加状況（小中間5）

【参加・不参加の状況】

区分		小学生	中学生
何らかの活動に参加経験あり	計	67%	47%
	男	69%	46%
	女	65%	48%
参加したことがない	計	33%	53%
	男	31%	54%
	女	35%	52%

【参加したことのある活動の種類】

区分	小学生	中学生
自然体験	34%	20%
仕事体験	25%	22%
生活体験	28%	13%
伝統芸能体験	26%	13%
文化芸術体験・スポーツ体験	36%	18%
社会貢献活動（ボランティア）	31%	23%
その他	2%	2%

【複数回参加した割合】

区分	小学生		中学生	
	複数回	1回	複数回	1回
自然体験	65%	35%	67%	33%
仕事体験	52%	48%	22%	78%
生活体験	55%	45%	49%	51%
伝統芸能体験	50%	50%	55%	45%
文化芸術体験・スポーツ体験	61%	39%	56%	44%
社会貢献活動（ボランティア）	61%	39%	57%	43%
その他	59%	41%	47%	53%
全体	58%	42%	50%	50%

<考察>

- 小学生の7割弱は、いずれかの種類の参加体験はあるものの、個別の種類ごとの参加経験はいずれも3割前後である。

- 中学生の体験活動の参加状況は小学生に比べて低く、5割弱となっており、個別の種類ごとの参加経験は多くとも2割程度である。
- 体験の種類ごとの意義や効果の周知を図るなど、様々な種類の体験活動への参加促進を図る必要性がある。
- 継続的に参加している体験活動（複数回参加）としては、「自然体験」や「社会貢献活動」が比較的高いが、全体的に4割から5割程度が1回限りと考えられる。特に中学生の「仕事体験」については、一回限りが多い。

(2) 参加した理由（小中間6）と参加したことのある活動の種類（小中間5）との関係

【参加した理由（上位5項目）】

区分	小学生	中学生
自分の興味があることだったから、得意なことだったから	62%	49%
自分の知らないことや、やったことのないことを知りたかったから	33%	31%
将来の仕事のことや生活などに役に立つと思ったから	23%	28%
友だちと一緒に参加するから	35%	34%
親やまわりの大人にすすめられたから	35%	33%

【体験活動の種類ごとの参加した理由の内訳（小学生）】

区分	得意なことだったから	自分の興味があることだったから	自分の知らないことや、やったことのないことを知りたかったから	自分の知らないことや、やったことのないことを知りたかったから	将来の仕事のことや生活などに役に立つと思ったから	学校以外の友だちがつくれると思ったから	年の違う仲間や大人たちと親しくなれると思ったから	住んでいる地域のことに関心を持ちたいと思ったから	友だちと一緒に参加するから	から	親やまわりの大人にすすめられたから	学校の先生に参加するようにすすめられたから	その他
自然体験	69%	42%	29%	17%	13%	9%	32%	34%	1%	6%			
仕事体験	69%	42%	36%	11%	12%	13%	30%	37%	2%	7%			
生活体験	70%	42%	33%	12%	11%	11%	31%	39%	1%	5%			
伝統芸能体験	71%	39%	26%	15%	14%	15%	29%	34%	2%	7%			
文化芸術体験・スポーツ体験	74%	39%	28%	11%	8%	11%	35%	32%	2%	5%			
社会貢献活動	57%	35%	26%	11%	11%	23%	28%	41%	2%	8%			

【体験活動の種類ごとの参加した理由の内訳（中学生）】

区分	得意なことだったから	自分の興味があることだったから、 自分の知らないことや、やったこと のないことを知りたかったから	自分の知らないことや、やったこと のないことを知りたかったから	将来の仕事のことや生活などに役 に立つと思ったから	学校以外の友だちがつくれると思 ったから	年の違う仲間や大人たちと親しく なれると思ったから	住んでいる地域のことに役に立ち たいと思ったから	友だちと一緒に参加するから	親やまわりの大人にすすめられた から	学校の先生に参加するようにすす められたから	その他
自然体験	59%	40%	30%	13%	10%	13%	28%	39%	9%	5%	
仕事体験	50%	36%	43%	9%	9%	14%	31%	28%	17%	6%	
生活体験	58%	44%	40%	13%	12%	17%	31%	35%	14%	6%	
伝統芸能体験	61%	39%	26%	12%	12%	13%	44%	34%	12%	7%	
文化芸術体験・ スポーツ体験	65%	39%	36%	15%	11%	14%	26%	30%	11%	7%	
社会貢献活動	42%	31%	29%	8%	8%	28%	36%	36%	17%	9%	

<考察>

- 小・中学生とも『自らの興味・関心』が参加理由として最も高くなっているが、『友達と一緒に』や『親のすすめ』による参加も一定程度を占めている。こうした働きかけも参加のきっかけの一つとしては有効と考えられる。
- 中学生については、小学生と比較すると『自らの興味・関心』を参加理由として挙げる割合が低くなっている。
一方で仕事体験や生活体験に『将来の仕事や生活に役立つ』を理由としてあげる割合は小学生に比べると高い傾向にあるほか、全体に『学校の先生に勧められた』の割合が高くなっている。
- 小・中学生とも『学校以外の友達をつくる』『年の違う仲間や大人と親しくなる』の項目の割合は低くなっている。

(3) 体験活動による効果や影響（小中間 8・保問 5）と参加前の理由（小中間 6）との関係

【体験活動による効果や影響の自覚（上位 3 項目と変化なしの項目）】

区分	小学生	中学生
友だちやまわりの人と協力して、何かすることが楽しいと感じた	47%	32%
自分に自信がついた、自信がついたように感じた	34%	30%
将来の仕事や生活のことを考えるようになった	21%	31%
特に変わったようには感じない	19%	22%

【特に変わったように感じない者の体験活動に参加した理由(上位 3 項目)】

小学生		中学生	
親やまわりの大人にすすめられたから	46%	親やまわりの大人にすすめられたから	39%
自分の興味があることだったから、得意なことだったから	44%	友だちと一緒に参加するから	36%
友だちと一緒に参加するから	32%	自分の興味があることだったから、得意なことだったから	26%

【保護者が体験活動に期待する上位 3 項目】

区分	保護者
他人と協力して何かすることに積極的になる	56%
自信をつける	42%
将来の仕事や生活のことを考えるようになる	38%

<考察>

- 一度参加すれば一定の評価を得ているものと考えられるので、まずは参加を促すことが重要である。
- 児童・生徒は、活動を通じての人間関係づくりや協働の価値や楽しさを得たことへの評価が高い。前記(2)参加した理由で『友達づくりや』『異世代との交流』の割合が低かったことと対称的であり、これは活動の継続性にとって重要な点と考えられる。
- 活動への評価が低い者は、他人からの勧めなどの理由で参加した者の割合が高くなっており、参加した活動でいかに意義や効果を感じられるかの工夫が重要である。

(4) 体験後の再参加の意向（小中間 7）と参加前の理由（小中間 6）との関係

【再体験の意向】

区分	小学生	中学生
もう一度参加したい	88%	82%
もう一度参加したいと思わない	12%	18%

【「もう一度参加したいとは思わない」者の体験活動に参加した理由（上位3項目）】

小学生		中学生	
親やまわりの大人にすすめられたから	48%	友だちと一緒に参加するから	44%
友だちと一緒に参加するから	37%	親やまわりの大人にすすめられたから	39%
自分の興味があることだったから、得意なことだったから	36%	学校の先生に参加するようにすすめられたから	23%

<考察>

- 一度参加すれば一定の評価を得ることができるので、まずは参加を促すことも重要である。
- 活動への評価が低い者には、他人からの勧めなどの理由で参加した者の割合が高くなっており、参加した活動でいかに意義や効果を感じられるかの工夫が重要である。

(5) 体験活動に参加しなかった理由（小中間9・保問7・8関係）

【小学生・中学生が参加しなかった理由（上位3項目）】

区分	小学生	中学生
どんな活動があるか知らなかったから	27%	41%
興味のある活動・やりたい活動がなかったから	28%	22%
勉強や習い事などで忙しいから	18%	26%

【中学生における体験活動への参加者、不参加者の部活やクラブ、塾等の加入状況(男女別)】

所属している団体等	男子		女子	
	参加者	不参加者	参加者	不参加者
学校の部活（運動部）	86%	83%	62%	65%
学校の部活（文化部）	7%	9%	31%	31%
子ども会	3%	1%	3%	3%
スポーツ少年団	8%	6%	5%	3%
水泳やサッカーなどの企業がやっているスポーツ教室・クラブ	14%	15%	13%	8%
ガールスカウト・ボーイスカウト	1%	0%	1%	0%
学習塾、予備校など	56%	58%	55%	59%
ピアノや習字、絵画、英語教室などの教室・おけいここと習い事・お稽古ごと	10%	8%	35%	30%
その他	5%	3%	3%	2%
特に入っていない	1%	2%	1%	1%

【小学生の保護者が体験活動に参加できない・させられないと考える理由（上位3項目）】

区分	保護者
場所・会場が遠い	40%
子供が関心を示さない・子供が嫌がる	44%
自分（保護者や周りの人）の都合がつかない	43%

【参加しやすくなるために必要と考えること（上位3項目）】

区分	小学生	中学生	保護者
いろいろな種類の体験活動が選べる	42%	47%	39%
近くの場所や会場で行われる	42%	49%	64%
無料または安い費用で行われる	44%	51%	47%

＜考察＞

- 『知らない』ことが、不参加理由の多数を占めており、活動の内容や意義と効果などの周知の工夫が必要である。
- 中学生は『忙しい』ことを理由とする不参加の割合が高いが、参加者・不参加者の部活や塾等の加入状況に大きな違いは見られない。しかし、こうした中学生の生活に配慮した、参加しやすい開催方法や内容の工夫が求められる。
- 参加のための環境整備としては、『近く』で『安い』開催が望まれている。

(6) 体験活動の参加募集を知る手段（小中間 11・保問 6）

【参加者募集を知る手段（上位3項目）と募集を知らない割合】

区分	小学生	中学生
学校で配られたチラシやお知らせなど	63%	64%
自治会や子ども会、PTA、スポーツ少年団などからののお知らせ、回覧板など	37%	30%
親や近所の大人から教えてもらった	35%	27%
参加者の募集を見たことがない	5%	10%

【保護者の上位3項目と募集を知らない割合】

区分	保護者
学校で配られたチラシやお知らせなど	88%
自治会や子ども会、PTA、スポーツ少年団などからののお知らせ、回覧板など	71%
図書館や公民館などの施設でのポスターやチラシなど	41%
参加者の募集を見たことがない	2%

【メディアにより知る機会の状況】

区分	小学生	中学生	保護者
新聞・雑誌	15%	17%	16%
インターネットや電子メール	10%	13%	12%

＜考察＞

- 学校外の体験活動であっても、その広報・周知には学校の協力が不可欠である。
- インターネットによる広報・周知を活用するには、そのサイトに誘導するための工夫が必要である。

(7) 今後参加したい活動（小中間 12・保間 9）

【小学生・中学生の今後参加したい活動（上位 3 項目）】

区分	小学生	中学生	保護者
自分の興味のあること・得意なことを伸ばせる	67%	70%	70%
将来の仕事や生活に役に立つ	44%	52%	37%
自分の知らないことや初めてのことに挑戦できる	42%	37%	68%

【参加者と不参加者の今後の参加したい活動の比較】

区分	小学生		中学生	
	参加者	不参加者	参加者	不参加者
自分の興味のあること・得意なことを伸ばせる	70%	↘ 59%	71%	↘ 69%
自分の知らないことや初めてのことに挑戦できる	48%	↘ 31%	37%	↘ 36%
将来の仕事や生活に役に立つ	42%	↗ 48%	48%	↗ 55%
学校以外の友だちがたくさんできる	17%	↘ 14%	14%	→ 14%
年の違う仲間やいろいろな大人たちと知り合える	12%	↘ 5%	9%	↘ 4%
自分の住んでいる地域や世の中にとって役に立つ	15%	↘ 11%	19%	↘ 13%
その他	1%	↘ 0%	2%	↘ 1%
特になし	10%	↗ 27%	13%	↗ 22%

【以前に参加した時の参加理由と今後参加したい活動の比較（参加者）】

区分	小学生		中学生	
	前	今後	前	今後
自分の興味のあること・得意なことを伸ばせる	62%	70%	49%	71%
自分の知らないことや初めてのことに挑戦できる	33%	48%	31%	37%
将来の仕事や生活に役に立つ	23%	42%	28%	48%
学校以外の友だちがたくさんできる	12%	17%	9%	14%
年の違う仲間やいろいろな大人たちと知り合える	12%	12%	8%	9%
自分の住んでいる地域や世の中にとって役に立つ	13%	15%	16%	19%
その他	8%	1%	8%	2%

<考察>

- 不参加者の『自己の興味・好奇心』に関する参加意向は、参加者に比べて低いが、『将来の仕事・生活』に関する活動については比較的高い。
- 参加者の、以前の参加理由と今後の参加したい活動を比較すると、『将来の仕事・生活』に役立つ活動への関心の増加が著しい。

2 地域について

(1)地域の愛着度 (小中間 14)

【地域の愛着度】

区分	小学生		中学生	
好き	52%	75%	38%	69%
どちらかといえば好き	23%		31%	
あまり好きではない	5%	6%	5%	6%
きらい	1%		1%	
何とも思わない	14%		22%	
わからない	5%		4%	

○ 小学生・中学生とも7割程度が、好きの分類（「好き」「どちらかといえば好き」）を占める。嫌いの分類（「あまり好きではない」「きらい」）は、6%となっている。

(2)地域の活動 (小中間 15・保問 3)

【地域の活動(上位3項目)】

区分	小学生	中学生	保護者
地元のお祭り	85%	82%	85%
地元のスポーツやレクリエーションの大会など	35%	32%	54%
地域の清掃や防災などの活動	36%	38%	49%

※保護者とは、子供と一緒に参加した活動。

○ 小・中学生とも、ほとんどの児童・生徒はお祭りの参加経験がある。

(3)埼玉県について誇りに思うこと・自慢したいこと (小中間 16)

【誇りに思うこと・自慢したいこと(上位5項目)】

	小学生		中学生	
1	アニメや映画の舞台	42%	食べ物・名物	36%
2	食べ物・名物	39%	アニメや映画の舞台	34%
3	アミューズメント施設	24%	アミューズメント施設	25%
4	名産・特産品	23%	祭り・伝統芸能	23%
5	スポーツ	21%	スポーツ	19%

○ 小・中学生とも、食べ物・名物では、「深谷ねぎ」「草加せんべい」、アニメや映画の舞台では、「クレヨンしんちゃん」「となりのトトロ」、アミューズメント施設では、「埼玉スタジアム」「鉄道博物館」などが具体的に多く名前が挙がっている。

(4)大人になったら住みたいと思う場所（小中間 18）

【住みたい場所】

区分	小学生	中学生
今住んでいる地域	25%	21%
東京都心	19%	17%
その他の国内の地域	22%	17%
外国	8%	10%
わからない	25%	33%

3 参考集計

(1) 男女別参考集計

① クラブ・団体等への参加状況

区分	小学生		中学生	
	男子	女子	男子	女子
学校の部活（運動部）	-	-	85%	63%
学校の部活（文化部）	-	-	8%	31%
子ども会	24%	26%	2%	3%
スポーツ少年団	38%	13%	7%	4%
企業のスポーツ教室・クラブ	35%	22%	15%	10%
ガールスカウト・ボーイスカウト	1%	0%	0%	0%
学習塾、予備校など	37%	36%	57%	57%
ピアノや習字、絵画、英語教室などの教室・おけいこごと	31%	56%	9%	32%
その他	7%	12%	4%	2%
特に入っていない	11%	9%	1%	1%

② 参加した体験活動の種類

区分	小学生		中学生	
	男子	女子	男子	女子
自然体験	40%	29%	21%	18%
仕事体験	26%	24%	22%	22%
生活体験	30%	26%	12%	13%
伝統芸能体験	29%	24%	11%	14%
文化芸術体験・スポーツ体験	39%	32%	17%	20%
社会貢献活動（ボランティア）	33%	29%	21%	24%
その他	2%	3%	2%	2%
参加したことがない	31%	35%	54%	52%

③ 埼玉県について誇りに思うこと・自慢したいこと

区分		小学生		中学生	
		男子	女子	男子	女子
1	自然や風景	17%	19%	15%	17%
2	食べ物・名物	37%	41%	33%	39%
3	名所や歴史的な建物	16%	17%	13%	15%
4	名産・特産品	17%	28%	9%	16%
5	街並み・都市	9%	10%	10%	12%
6	祭り・伝統芸能	18%	23%	18%	29%
7	アミューズメント施設	30%	19%	23%	27%
8	スポーツ	32%	11%	27%	11%
9	偉人・有名人・著名人	7%	10%	4%	10%
10	気候・風土	7%	10%	8%	10%
11	アニメや映画の舞台	42%	42%	30%	38%
12	その他	2%	2%	3%	1%
13	わからない	11%	12%	24%	15%

④ 大人になったらどこに住みたいか

区分	小学生		中学生	
	男子	女子	男子	女子
今住んでいる地域	24%	25%	20%	22%
東京都心	14%	24%	15%	20%
その他の国内の地域	24%	20%	18%	16%
外国	8%	8%	11%	9%
わからない	28%	23%	34%	32%

(2) 地域別参考集計

① クラブ・団体等への参加状況

区分	小学生				中学生			
	東	西	南・中	北・秩	東	西	南・中	北・秩
学校の部活（運動部）	-	-	-	-	70%	75%	76%	74%
学校の部活（文化部）	-	-	-	-	22%	17%	20%	19%
子ども会	30%	20%	22%	31%	2%	1%	3%	1%
スポーツ少年団	28%	23%	25%	30%	5%	4%	5%	9%
企業のスポーツ教室・クラブ	21%	29%	34%	22%	19%	11%	12%	9%
ガールスカウト・ボーイスカウト	1%	0%	1%	1%	1%	0%	0%	1%
学習塾、予備校など	29%	43%	38%	29%	53%	57%	63%	51%
ピアノや習字、絵画、英語教室などの教室・おけいこごと	38%	43%	49%	38%	18%	23%	21%	19%
その他	7%	9%	10%	14%	3%	3%	3%	5%
特に入っていない	13%	10%	9%	11%	2%	1%	0%	1%

② 参加した体験活動の種類

区分	小学生				中学生			
	東	西	南・中	北・秩	東	西	南・中	北・秩
自然体験	34%	33%	31%	47%	14%	21%	22%	19%
仕事体験	21%	27%	26%	26%	13%	30%	26%	13%
生活体験	27%	27%	27%	32%	10%	13%	15%	14%
伝統芸能体験	22%	25%	25%	38%	9%	15%	13%	13%
文化芸術体験・スポーツ体験	38%	35%	33%	43%	17%	21%	19%	14%
社会貢献活動(ボランティア)	23%	35%	30%	33%	18%	24%	22%	26%
その他	2%	3%	3%	3%	3%	1%	1%	2%
参加したことがない	34%	33%	35%	29%	64%	50%	50%	49%

③ 地域への愛着度

区分	小学生				中学生			
	東	西	南・中	北・秩	東	西	南・中	北・秩
好き	54%	49%	51%	56%	42%	37%	33%	45%
どちらかといえば好き	21%	18%	26%	26%	30%	29%	33%	29%
あまり好きではない	3%	5%	6%	5%	3%	7%	3%	4%
きらい	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	1%
何とも思わない	14%	18%	13%	10%	21%	20%	26%	17%
わからない	6%	8%	2%	4%	3%	6%	3%	3%

④ 埼玉県について誇りに思うこと・自慢したいこと

区分		東部		西部		南部・中央		北部・秩父	
		小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
1	自然や風景	13%	12%	20%	17%	15%	13%	29%	24%
2	食べ物・名物	53%	48%	31%	31%	34%	33%	50%	35%
3	名所や歴史的な建物	21%	16%	15%	13%	13%	12%	22%	16%
4	名産・特産品	29%	21%	15%	5%	29%	16%	14%	5%
5	街並み・都市	3%	5%	15%	19%	9%	10%	5%	4%
6	祭り・伝統芸能	13%	19%	18%	23%	10%	9%	58%	61%
7	アミューズメント施設	21%	28%	17%	18%	34%	34%	20%	11%
8	スポーツ	18%	15%	21%	15%	24%	27%	20%	17%
9	偉人・有名人・著名人	9%	11%	8%	8%	7%	5%	12%	6%
10	気候・風土	11%	5%	4%	8%	7%	7%	17%	19%
11	アニメや映画の舞台	53%	37%	41%	35%	42%	34%	32%	25%
12	その他	1%	2%	3%	2%	2%	2%	2%	0%
13	わからない	8%	16%	16%	25%	12%	22%	5%	8%

○ 具体的には、東部地域の食べ物・名物は、「草加せんべい」。アニメや映画の舞台は「クレヨンしんちゃん」。西部地域の街並み・都市では、「川越の蔵造りの街並み」、アニメや映画の舞台は「となりのトトロ」。南部・中央のアミューズメント施設では、「埼玉スタジアム」、スポーツは「浦和レッズ」。北部・秩父の食べ物・名物は「深谷ねぎ」、祭り・伝統芸能は「秩父夜祭り」が多く挙げられている。

⑤ 大人になったらどこに住みたいか

区分	小学生				中学生			
	東	西	南・中	北・秩	東	西	南・中	北・秩
今住んでいる地域	30%	16%	27%	29%	21%	21%	22%	21%
東京都心	18%	19%	16%	26%	18%	17%	17%	19%
その他の国内の地域	24%	25%	23%	13%	17%	16%	20%	14%
外国	8%	9%	10%	4%	9%	13%	9%	7%
わからない	20%	30%	24%	28%	34%	32%	31%	37%

青少年の体験活動に関するアンケート調査結果について

I 調査の趣旨

青少年の体験活動に関しては、子供の頃に自然体験や生活体験を多く行っているほど、他者への思いやりや積極性などの自立的習慣が身についているとの調査結果がある。

一方、埼玉県内の青少年の健全育成に関わる団体加入者数は、青少年人口の減少を上回るペースで低下し、地域によって活動状況にも差が生じている。また、核家族化の進行や実体験の不足などにより、子供たちのコミュニケーション能力や規範意識の低下が指摘されている。

そこで、青少年の健全育成に携わる団体の体験活動の現状や課題、必要な支援等を調査し、今後の地域における青少年が体験活動に参加する機会を創出するための方策の検討を行う。

II 調査の概要

1 調査方法

- (1) 青少年の健全育成に携わる団体にアンケート票を配布し、回収する。

ただし、NPOについては「子どもの健全育成」を活動分野としている団体の中から「体験活動」を実施している団体を抽出してアンケート票を配布する。

- (2) 県において、アンケート票の収集・分析等を行う。

2 アンケート票配布・回収時期

平成25年8月～9月

3 アンケート回答数

番号	団体区分	対象数	回答数	回答率
1	青少年育成市町村民会議	52	34	65%
2	青少年相談員	54	25	46%
3	青少年団体・青少年育成団体	11	6	55%
4	青年会議所	30	16	53%
5	NPO	72	24	33%
合計		219	105	48%

1 青少年育成市町村民会議

「青少年育成運動」の推進母体として市町村ごとに設置されている団体。埼玉県内には、55団体(うち活動休止中は3団体)が組織されている。

2 青少年相談員

子供達を健全に育成するための各種事業において、子供達のリーダーとなって一緒に活動する青年ボランティア。青少年相談員制度は昭和40年に埼玉県が独自に設置した制度で、概ね20歳～30歳の青年を委嘱し、基本的には市町村単位で活動をしている。平成26年1月1日現在で54市町に796人を委嘱している。

3 青少年団体・青少年育成団体

ボーイスカウト埼玉県連盟やガールスカウト埼玉県連盟、レクリエーション協会や地域婦人会連合会など、青少年の健全育成の推進を図ることを目的に活動している団体である。

4 青年会議所

県内に30団体あり、「人づくり」を通じて地域に貢献する事業等を展開している。その活動の1つとして子供達を対象とした体験活動を実施している。

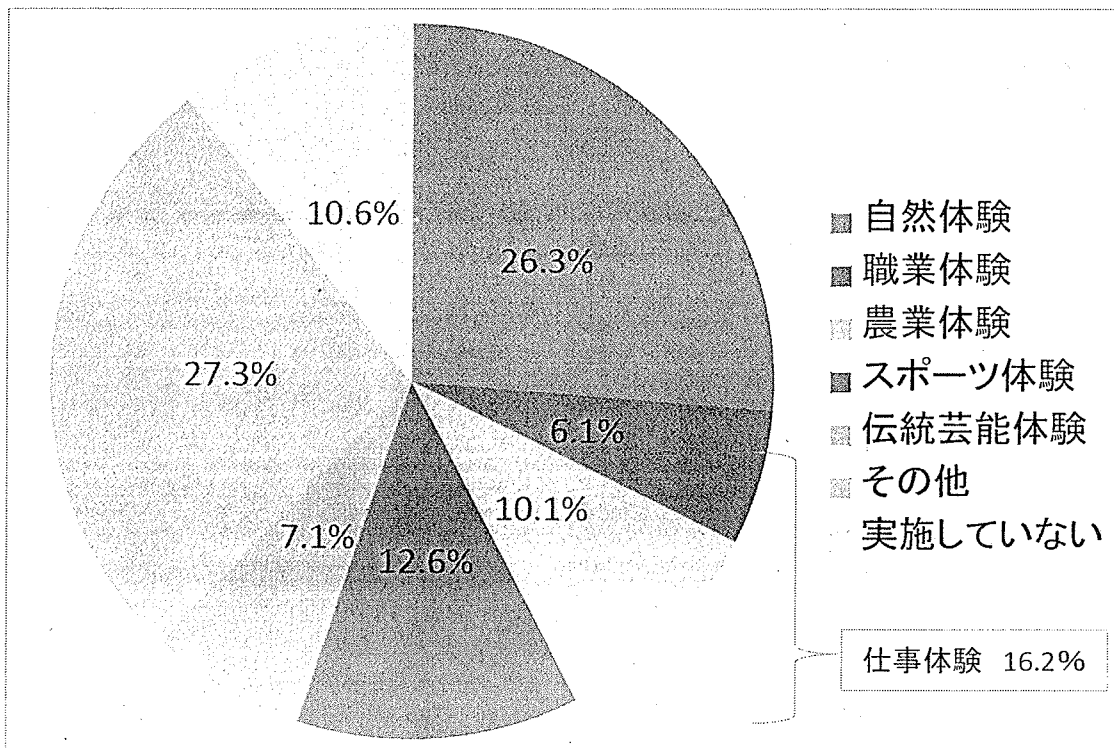
5 NPO

「子どもの健全育成」を活動分野としているNPO

Ⅲ 集計結果の概要

Q1: 青少年の体験活動について、現在どのような事業を実施していますか。(複数回答可)

番号	団体区分	1	2	3	4	5	6	7	合計
		自然体験	スポーツ体験	仕事体験		伝統芸能体験	その他	実施していない	
				職業体験	農業体験				
1	青少年育成市町村民会議	8	6	1	3	5	11	13	47
		17.0%	12.8%	2.1%	6.4%	10.6%	23.4%	27.7%	
2	青少年相談員	22	4	0	3	3	16	1	49
		44.9%	8.2%	0.0%	6.1%	6.1%	32.7%	2.0%	
3	青少年団体・青少年育成団体	5	0	0	1	0	4	0	10
		50.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
4	青年会議所	8	9	5	3	2	6	2	35
		22.9%	25.7%	14.3%	8.6%	5.7%	17.1%	5.7%	
5	NPO	9	6	6	10	4	17	5	57
		15.8%	10.5%	10.5%	17.5%	7.0%	29.8%	8.8%	
合計		52	25	12	20	14	54	21	198
		26.3%	12.6%	6.1%	10.1%	7.1%	27.3%	10.6%	100%



【考察】

- 体験活動の実施事業は、「自然体験」が52団体(26.3%)と最も多い。次いで「仕事体験」32件(16.2%)、「スポーツ体験」25件(12.6%)の順となっている。
- 団体区分別では、青少年相談員と青少年団体・青少年育成団体では「自然体験」、青年会議所は「スポーツ体験」、NPOは「農業体験」が最も多い。青少年育成市町村民会議では実施していないが多い。

【6 その他の具体的な内容:主なもの】

○青少年育成市町村民会議

通学合宿(公民館での3泊4日の共同生活体験)、夏休み社会科見学会、文化芸術体験(お茶・書道・囲碁・大正琴等)、避難所体験等の防災キャンプ、国際交流セミナー(世界の国の料理等を共同で調理し、その国の特色を研究)、世代間交流事業(手作り遊具作り)

○青少年相談員

レクリエーション(4)、清掃活動(2)、料理体験(2)、社会見学(工場見学や工芸体験など)(2)、雪上のつどい(スキー、スノーボード)、巾着田でのウォークラリーや川遊びなどのデイキャンプ、クラフト、工作、水鉄砲づくり、もちつき

○青少年団体・青少年育成団体

国際交流体験活動、ギャザリング(テーマについて、自分の調べたことや体験活動に基づいた意見を言い、他人の意見を聞き、社会へ発信するために行動を起こす活動)

○青年会議所

小学校での土曜寺子屋、お寺一泊合宿(倫理観を身につけ、団体行動を通じて責任感や協調性を学ぶため)、富士山登頂、スキー事業、コミュニケーション能力を高めるための子ども討論会

○NPO

森林セラピー、親子の富士登山、トレッキング、プレーパーク(ボランティア体験として、毎年中高生を対象に3日間実施)、魚つかみ(自然の山中の川をせき止めイワナを放流して、掴み、腹を自らの手で裂き、串に刺し、焼き、食す「命をいただく」学習)、しめ縄づくり、吹きガラス体験(身近なコップや花瓶がどのように作られているかを知ることにより、「もの」に対する「大切さ」を知ってもらうため)、物語を語る(講談)体験、伝統文化体験活動(茶道、古武道、雅楽、古典文学書読会、琴)、芸術体験活動(音楽鑑賞とワークショップ)、美術体験活動(染色、陶芸、水彩画)、高校生に対する保育体験

Q2: 体験活動を実施する上での課題等がありますか。

番号	団体区分	回答数	課題あり	課題の内訳				割合
				スタッフの不足等	参加者が集まらない等	活動資金が不足等	その他	
1	青少年育成市町村民会議	34	12	8	5	0	4	35%
2	青少年相談員	25	20	15	5	3	4	80%
3	青少年団体・青少年育成団体	6	5	1	2	0	3	83%
4	青年会議所	16	6	0	7	1	1	38%
5	NPO	24	19	5	2	17	5	79%
合計		105	62	29	21	21	17	59%

【考察】

- 回答のあった団体のうち59%の団体で何かしらの課題があると回答している。
- 「ボランティアスタッフの不足」や「人材の育成」などスタッフに関する課題が市町村民会議や相談員に多い。市町村民会議においては、担い手が高齢化する一方、後継スタッフの不足が大きな課題となっていると考えられる。相談員については、若年層人口の減少や認知度の低さなどにより、担い手が減少している。
- 「参加者が集まらない」や「事業内容によって参加者の増減が大きい」などは、各団体共通の課題である。
- 「講師謝金やボランティアの交通費の不足」や「収入不足による運営サイドの負担が大きい」など活動資金に関する課題について、NPOの大きな課題となっている。

Q3: 今後、新たな体験活動を実施する意向はありますか。

番号	団体区分	1		2		3		回答数
		実施したい	割合	検討したい	割合	意向なし	割合	
1	青少年育成市町村民会議	4	12%	7	21%	22	67%	33
2	青少年相談員	7	28%	12	48%	6	24%	25
3	青少年団体・青少年育成団体	3	50%	2	33%	1	17%	6
4	青年会議所	8	53%	5	33%	2	13%	15
5	NPO	17	61%	7	25%	4	14%	28
合計		39	36%	33	31%	35	33%	107

■「実施したい」、「検討したい」団体の活動内容

番号	団体区分	1	2	3
1	青少年育成市町村民会議	仕事(3)		
2	青少年相談員	自然(5)	仕事(5)	スポーツ(2)
3	青少年団体・青少年育成団体	自然(1)		
4	青年会議所	自然(2)	仕事(1)	
5	NPO	仕事(5)	伝統芸能(3)	自然(2)

活動内容別の合計数

仕事体験	14団体
自然体験	10団体
伝統芸能	3団体
スポーツ	2団体

【考察】

- 青少年団体・青少年育成団体、青年会議所、NPOは「実施したい」の割合が5～6割と高い。
- 青少年相談員は、「実施したい」の割合は低いものの「検討したい」の割合が高い。新たな活動をしたいという気持ちはあるものの、各市町村での委嘱人数の減少により活動実施に結び付かないことが理由と考えられる。
- 青少年育成市町村民会議は「意向なし」が最も多い。青少年育成市町村民会議は、スタッフの不足などにより活動を広げられず、新たな事業を実施する余力が乏しいことが考えられる。
- 今後実施(検討)したい活動内容では、「仕事体験」が最も多く、次いで「自然体験」、「伝統芸能体験」、「スポーツ体験」の順である。

【1 「実施したい」の具体的な内容:主なもの】

○青少年育成市町村民会議

草加せんべい作り体験、子供達が自ら考えて作る“子どものまち”で疑似職業体験をしながら色々な仕事に興味を持ってそこから社会の仕組みを知ってもらえるような楽しく働いて遊べる子どものまちづくり、親子体験型のサイエンスショー

○青少年相談員

キャンプ(3)、冬季のスキー合宿、臨海学校、職業体験、工場見学

○青少年団体・青少年育成団体

泊りがけのキャンプ

○青年会議所

職業体験、地域ボランティアを活用したコミュニティースクール等による体験活動、海外への渡航(旅行ではなく、海外での体験活動)

○NPO

自然体験、プレーパーク、農業体験、収穫体験、「食」の徹底体験、職人を訪ね色々な職業を知る体験、国際交流

【2 「検討したい」の具体的な内容:主なもの】

○青少年育成市町村民会議

子ども達が学校・地域以外でのボランティア体験活動に参加できる事業

○青少年相談員

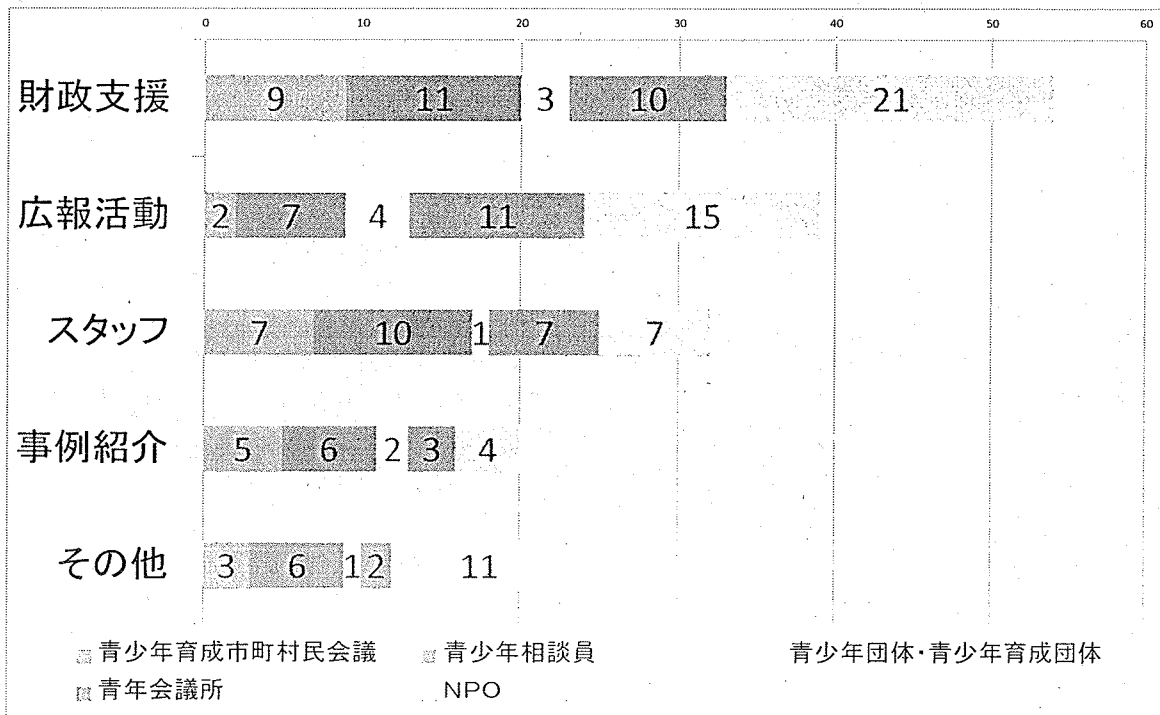
宿泊のキャンプ、農業体験(田植え～収穫)、イチゴ狩り等地域の特色や特産を活用した事業、親子事業

○NPO

アート体験、舞台芸術フェスティバル、教え合う場所づくり

Q4: 県からどのような支援があると、事業を実施しやすいですか。(複数回答可)

番号	団体区分	1	2	3	4	5
		財政支援	広報活動	スタッフ	事例紹介	その他
1	青少年育成市町村民会議	9	2	7	5	3
2	青少年相談員	11	7	10	6	6
3	青少年団体・青少年育成団体	3	4	1	2	1
4	青年会議所	10	11	7	3	2
5	NPO	21	15	7	4	11
合計		54	39	32	20	23



【考察】

- 県の支援の在り方としては、そのスケールメリットを生かして体験活動に関する県民への情報提供や、スタッフを団体に紹介するといった方策の検討などが考えられる。
- 体験活動を実施している団体に対して、他団体の活動状況について情報提供することも有用であると考えられる。

【1 「財政支援」の具体的な内容】

必要な支援として回答があったものは、多い順に次のとおりである。

- ①講師謝礼(17)
- ②スタッフの交通費やガソリン代(11)
- ③会場借上費(10)
- ④材料費や消耗品購入費(10)
- ⑤広報誌や参加者への通知等の印刷代(6)
- ⑥車両レンタル代(5)
- ⑦郵送費用(2)
- ⑧保険料(2)
- ⑨研修費用(2)

また、NPOのみが必要としている支援として「スタッフの人件費」がある。

【2 「その他の支援」の具体的な内容:主なもの】

○青少年育成市町村民会議

他団体の活動内容に関する情報、財源不足への支援

○青少年相談員

青少年活動の認知度が向上するための支援、関係団体協力の他大学や地元の大きな企業などへのスタッフ募集のチラシの配布への支援

○青少年団体・青少年育成団体

県内大学に対する広報活動の支援、青少年が利用しやすい利便性の高い場(施設)の提供、関係団体・企業等とのより緊密な連携を深めるための支援

○青年会議所

どの学校にもPRの資料や広報活動が届くように教育委員会やPTAなどの後援、行政をはじめマスコミを取り込んだPRの強化支援

○NPO

定期的な指導ができる指導者不足、広報支援(コバトン便のようなWEBや紙媒体での県民へ提供しやすいツールが各団体にも活用できるように)、地域人材の発掘を促す支援、事例紹介だけではなく活動団体のプログラムや収支・事業実施に伴う検証や課題などを情報提供や案内人(団体)や窓口、魅力有る施設運営の機会の提供、国際交流の為に外国人をどのように集め確保するか、地域の方の協力が得られる様に行政が調整するシステム、学校・児童クラブへのポスター・チラシ等の配布、小学校の体験授業を更に広めたいので教育委員会の協力、県の具体的方針や支援の内容などの定期的な案内

【Q5 地域における体験活動についての意見:主なもの】

○青少年育成市町村民会議

- ・ 引率等のサポートをしてくれる人材が不足
- ・ 以前は親子でグランドゴルフを開催していたが、地域の団体等が行っているため、現在は開催していない。これからは他団体と共同事業を考える時期にきている。
- ・ 青少年関係団体と連携し、ジュニアリーダーの育成を目的とした体験活動を検討して行きたい。

○青少年相談員

- ・ 相談員確保並びに、他機関と調整出来る人材不足で苦しい時もあるが、地域に根差した活動が成り立ちつつあると自負している。地域性を市町村毎に発揮、活性化する手助けを県にも期待する。

- ・ 同じように地域における体験活動を行う団体があるが、団体間の連携がとれていないように感じている。また、相談員のなり手が不足しており、役場の職員がメインとなっている状況がある。町内に高校も大学もないため、相談員の人材確保が今後の重要なテーマとなっている。
- ・ ボランティアでやっているが、子どもとの活動は自分にも子ども達にもとても良い体験になっていると思う。今後スタッフが少なくなると活動がままならなくなると思うので若者のスタッフの充実が必要だし、そのスタッフの募集などの支援をしてもらえるとありがたい。
- 青少年団体・青少年育成団体
 - ・ 地域との連携を深めるためには、行政ばかりではなく、地元自治会、青少年育成会等の連携が必要となるので、この為のサポート体制がほしい。他団体の青少年との交流を深めることにより、地域における青少年の自立がよりの確となると思われる。
- 青年会議所
 - ・ 行政でなく市民が主導していける体制づくりが必要。より多くの地域の人材を活用して事業を開催することが事業の継続に繋がる。
 - ・ 他団体とのマッチングを県主導で行ってはどうかと考える。HP等で各団体のPRや活動内容を紹介し、希望する要請を具体的に記載することで、ボランティアマッチング等も可能になればよいかとも思う。
- NPO
 - ・ 多くの団体に、青少年指導者の高齢化、事業マンネリ化、各省庁などの研修事業に参加する団体役員の高齢化傾向にある。役員を担う人材の不足による要因のほか、活動主ではなく長老的な居場所化、役職や地域経験豊富な方に限定されてしまう要因など、これらを見直していくことで、青少年指導者の世代交代、若年化、家族参加などたくさんの参加が見込めると思う。NPOやサークル活動には、自治体の支援や事業協力、連携が少ないことから、げんきプラザなどの利用団体間での交流を図り自然発生なネットワークが増えてきている。地域活動の形態は様々ですが、多くの活動団体が地域の連携協力をスムーズにできるような支援や助言があるとより青少年活動の活性化につながると思う。
 - ・ 無償ボランティアによる自然体験の場には、提供者側の準備と活動可能な時間の制限や、企画やサービスの質などが低下し、参加者側が面白くないと感じる企画になり、親が参加させたいと思わなかったり、参加者当事者が次回は参加したくないと思ってしまう。提供者側のある程度の収入源になり得る仕組みにしていかないと、持続的に魅力ある企画が定期的に開催されず、結果的に青少年の自然体験の機会が失われていく。ボランティアを当てにしないビジネスモデルの構築が重要だと考えている。
 - ・ NPOだから、自由に企画し実施することができる(ただ、賃金と場所の確保が出来ればです)。商店街の疑似体験は、4年目にして、会場の確保も確約を頂けるようになったし、広報活動もスムーズになった。積み重ねが大切ですが、良いことは応援してもらえると、実施が可能である。
 - ・ 青年たちの傾向から見て、長期的な視点に立った運営が望まれる。そのようなサポートを行政サイドからあると望ましい。
 - ・ お金のかかる(本物 プロ)の体験活動が少ない。お金をかけないで、やれば良いと言う風潮が気になる。観る人があってこそ、芸術文化も高まると思う。
 - ・ 全国的に子供の数が減っている時代の中で、子供に対する”過度な世話”は逆効果となり、心身共に健全な成長は期待できないと思っている。従って、参加人数のバラツキ(家庭の事情その他)は、当然と受け止めている。参加人数も5~6人の少人数の方が、本来の目的に沿った活動ができると思って、地道な活動を行っている。今まで、関わってきた子ども達が、年齢的に社会人になっているが、余裕ができる年代になった時に、青少年育成活動(ボランティア活動)に参加してもらえれば、理想的な”人間環境”ができると思う。
 - ・ 市や学校によって支援の仕方がまちまち。公の広報と同様に各家庭に伝えられる手段がほしい。また、行政との協働事業をすることによって信頼が得られ参加しやすくなる。協働事業が受けられるよう頑張りたい。

学校外の体験活動に関するアンケート調査における傾向について（参考）

学校外の体験活動に関するアンケート調査における設問「大人になったらどこに住みたいか」の回答別によるクロス集計したところ、回答群別に以下の傾向がみられた。

1 設問「大人になったらどこに住みたいか」

(1) 回答

回答区分	小学生	中学生
1 今住んでいる地域	25%	21%
2 東京都心	19%	17%
3 その他の国内の地域	22%	17%
4 外国	8%	10%
5 わからない	25%	33%

2 回答群別のクロス集計の特徴（原則、小・中学生共通）

(1) 「今、住んでいる地域」回答群

- ・ 今住んでいる地域が「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合が回答群の中で最も高い（問 14）。
- ・ 体験活動に参加した理由と今後の参加したい活動について、「自分の住んでいる地域や世の中にとって役に立つ」を選択した割合が、他の回答群と比べ最も高い（問 6・12）。また、体験活動に参加してみて、「地域のことや伝統・文化に親しみや興味がわいた」を選択した割合も最も高い（問 8）。
- ・ 「地域の清掃や防災などの活動」に参加した割合が、他の回答群に比べ最も高い（問 15）。
- ・ 他の都道府県の人に自慢・紹介したいこととして、「自然や風景」「名産・特産品」「祭り・伝統芸能」を選んだ割合が、他の回答群と比べ最も高い（問 16）

(2) 「東京都心」回答群

- ・ 男女を比較すると、女子に「東京都心」と回答する割合が高い（問 1）。
- ・ 今住んでいる地域が「あまり好きではない」と「嫌い」を合わせた割合が回答群の中で最も高い（問 14）。
- ・ ただし、地域活動を「特にしていない」という割合は、他の回答群と比べ最も低い（特にしていないという人はあまりいない）（問 15）
- ・ 「伝統芸能体験」に参加したことがある割合が、他の回答群と比べ最も低い（問 5）。

(3) 「その他の国内の地域」回答群

- ・ 今、住んでいる地域が「どちらかといえば好き」が、最も高い（問 14）
- ・ 地域の活動において、「地域の声かけ・あいさつ運動」の割合が、他の回答群に比べ最も低い。また、「外国人との交流・国際交流などの活動」の割合も最も低い（問 15）。

(4) 「外国」回答群

- ・ 体験活動に期待することとして、「学校以外の友達がたくさんできる」の関連項目への回答の割合が、他の回答群と比べて最も高い（問 6・7・12）。
- ・ 体験活動の情報を、新聞・雑誌やインターネットで知る割合が他の回答群と比べて最も高い（問 11）。
- ・ 地域活動で「外国人との交流・国際交流などの活動」の割合が他の回答群と比べて最も高い（問 15）。
- ・ 他の都道府県の人に自慢・紹介したいこととして、「スポーツ」を選んでいる割合が他の回答群と比べ最も高い（問 16）。

(5) 「わからない」回答群

- ・ 体験活動の効果・影響について「特に変わったように感じない」との回答の割合が他の回答群と比べ最も高い（問 8）。
- ・ 体験活動の「募集を見たことない」割合が、他の回答群と比べ最も高い（問 11）
- ・ 今後の体験活動の希望が「特にない」割合が、他の回答群と比べ最も高い（問 12）
- ・ 地域活動を「特にしていない」と回答した割合が、他の回答群と比べ最も高い（問 15）

3 回答群の傾向

- ・ 「今、住んでいる地域」と回答した者には、地域への愛着度の強さが認められ、地域への関わりについても積極的である。
- ・ 「東京都心」と回答した者は、あまり地域への愛着度は高くない傾向がある。ただし地域活動について無関心なわけではない。
- ・ 「その他の国内の地域」と回答した者についても、地域への愛着度が低いわけではない。
- ・ 「外国」と回答した者は、積極的に広く外への交流を求めており、インターネットなどでの情報収集にも熱心であることがうかがえる。また、過去の国際交流の経験の影響も少なくないと考えられる。
- ・ 「わからない」と回答した者は、体験活動や地域活動への関心が低い傾向にある。

学校外の体験活動に関するアンケート調査(小学生)

(問18「大人になったらどこに住みたいか」によるクロス集計)

		問18				
		今住んでいる地域	東京都心	その他の国内の地域	外国	わからない
		1	2	3	4	5
1	男	24%	14%	24%	8%	28%
2	女	25%	24%	20%	8%	23%

問1 あなたの性別を選んで、○をつけてください。

問3 あなたは今住んでいる地域に、どのくらいの間、住んでいますか。次の中から、一つだけ選んで○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	1年未満	1%	2%	5%	4%	1%
2	1年以上3年未満	3%	7%	6%	7%	4%
3	3年以上5年未満	7%	7%	6%	10%	8%
4	5年以上10年未満	28%	35%	32%	22%	32%
5	10年以上	61%	50%	51%	56%	55%

問4 あなたが、今、参加しているクラブや団体、教室などがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください

		1	2	3	4	5
1	子ども会	29%	20%	22%	32%	22%
2	スポーツ少年団	29%	19%	28%	31%	23%
3	水泳やサッカーなどの企業がやっているスポーツ教室・クラブ	32%	20%	26%	33%	32%
4	ガールスカウト・ボーイスカウト	2%	0%	1%	0%	0%
5	学習塾、予備校など	33%	41%	38%	40%	33%
6	ピアノや習字、絵画、英語教室などの教室・おけいこごと	48%	39%	46%	49%	40%
7	その他	11%	9%	10%	1%	10%
8	特に入っていない	7%	12%	10%	8%	13%

問5 学校の授業や行事以外の体験活動に参加しましたか。あなたが参加した体験活動の種類について、平成24年と平成25年に参加した回数を、記入してください。

		1	2	3	4	5
1	自然体験	39%	34%	36%	36%	28%
2	仕事体験	29%	28%	25%	24%	21%
3	生活体験	29%	25%	32%	28%	24%
4	伝統芸能体験	32%	22%	25%	25%	25%
5	文化芸術体験・スポーツ体験	42%	35%	38%	38%	28%
6	社会貢献活動 (ボランティア)	37%	24%	32%	22%	30%
7	その他	4%	1%	3%	6%	1%
8	参加したことがない	30%	39%	29%	29%	36%

問6 問5で答えた体験活動に参加した理由は何ですか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください

		1	2	3	4	5
1	自分の興味があることだったから、得意なことだったから	67%	64%	62%	71%	51%
2	自分の知らないことや、やったことのないことを知りたかったから	37%	36%	32%	29%	27%
3	将来の仕事のことや生活などに役に立つと思ったから	25%	20%	25%	27%	18%
4	学校以外の友だちがつくれると思ったから	8%	12%	15%	20%	10%
5	年の違う仲間や大人たちと親しくなれると思ったから	14%	15%	9%	10%	10%
6	住んでいる地域のことや役に立ちたいと思ったから	17%	17%	15%	6%	7%
7	友だちと一緒に参加するから	38%	33%	33%	43%	31%
8	親やまわりの大人にすすめられたから	37%	29%	35%	27%	40%
9	学校の先生に参加するようにすすめられたから	1%	0%	1%	6%	2%
10	その他	7%	6%	7%	4%	12%

問7 学校以外の体験活動に参加してみて、同じ活動や他の活動にもう一度参加したいと思いますか。その理由を次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	もっと詳しく知りたい・上手になりたいから	64%	55%	60%	69%	52%
2	いろいろなことが知りたい・知らないことをやってみたいから	50%	43%	56%	29%	38%
3	将来の仕事や生活を考えるのに役に立つから	19%	27%	26%	33%	20%
4	学校以外の友だちができたから	17%	19%	23%	24%	11%
5	親や先生以外の大人と親しくなれてよかったから	14%	8%	10%	4%	12%
6	住んでいる地域のことや、歴史・伝統に興味があったから	14%	17%	12%	16%	8%
7	その他	8%	6%	7%	4%	13%
8	もう一度参加したいとは思わない	8%	12%	11%	12%	18%

問8 体験活動に参加する前と参加した後で、自分は何かが変わったと思いますか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	自分に自信がついた、自信がついたように感じた	41%	23%	39%	35%	27%
2	社会や経済のことに興味があった	9%	11%	7%	6%	4%
3	将来の仕事や生活のことを考えるようになった	20%	25%	26%	27%	12%
4	地域のことや伝統・文化に親しみや興味があった	19%	18%	16%	16%	10%
5	大人や年上の人と話すのが楽しいと感じた	18%	15%	15%	22%	17%
6	友だちやまわりの人と協力して、何かすることが楽しいと感じた	48%	45%	50%	59%	41%
7	友だちやまわりの人への、思いやりを持てるようになった	23%	19%	17%	18%	11%
8	その他	0%	1%	6%	2%	4%
9	特に変わったようには感じない	16%	17%	13%	16%	31%

問9 学校以外の体験活動に参加しなかった理由は何ですか。次の中から、一つだけ選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 どんな活動があるか知らなかったから	29%	17%	23%	43%	33%
2 興味のある活動・やりたい活動がなかったから	31%	28%	32%	19%	26%
3 場所・会場が遠かったから	2%	3%	4%	0%	1%
4 勉強や習い事などで忙しいから	14%	20%	26%	24%	14%
5 友だちや知っている人がいないので不安だったから	9%	6%	2%	5%	2%
6 参加費用（料金）がかかるから	2%	3%	0%	0%	2%
7 親やまわりの大人の都合がつかなかった、または反対されたから	5%	16%	5%	5%	4%
8 その他	6%	6%	9%	5%	14%

問10 学校以外の体験活動に参加しやすくなるには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 どんな活動があるか、インターネットなどで探せる	28%	30%	25%	29%	26%
2 いろいろな種類の体験活動が選べる	51%	44%	47%	33%	32%
3 近くの場所や会場で行われる	48%	30%	44%	48%	44%
4 参加した人の感想や活動の様子（写真や動画で）を知ることができる	18%	27%	14%	33%	17%
5 活動について相談できる人や場所（センターなど）がある	12%	3%	7%	0%	0%
6 無料または安い費用で行われる	48%	47%	46%	29%	44%
7 親や学校の先生がすすめてくれる、協力してくれる	18%	9%	25%	19%	15%
8 その他	3%	0%	2%	0%	5%
9 わからない	6%	17%	14%	24%	30%

問11 学校以外の体験活動の参加者の募集はどうやって知りましたか、または知ることが多いですか。次の中から、あてはまるもの5つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 学校で配られたチラシやお知らせなど	59%	67%	63%	65%	61%
2 図書館や公民館などの施設でのポスターやチラシなど	25%	27%	28%	21%	20%
3 デパートやスーパーなどの施設でのポスターやチラシなど	13%	19%	11%	15%	17%
4 自治会や子ども会、PTA、スポーツ少年団などからのお知らせ、回覧板など	45%	33%	31%	43%	36%
5 新聞、雑誌など	17%	15%	14%	18%	12%
6 インターネットや電子メール	9%	9%	10%	17%	8%
7 友だちから教えてもらった	35%	32%	29%	36%	37%
8 親や近所の大人から教えてもらった	37%	36%	32%	47%	33%
9 学校の先生から教えてもらった	13%	11%	9%	21%	10%
10 その他	2%	5%	3%	0%	3%
11 参加者の募集を見たことがない	5%	2%	5%	6%	8%

問12 今後どんな活動に参加したいですか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	自分の興味のあること・得意なことを伸ばせる	72%	59%	71%	69%	63%
2	自分の知らないことや初めてのことに挑戦できる	52%	38%	40%	47%	35%
3	将来の仕事や生活に役に立つ	40%	46%	50%	46%	41%
4	学校以外の友だちがたくさんできる	18%	17%	18%	25%	11%
5	年の違う仲間やいろいろな大人たちと知り合える	12%	9%	10%	8%	8%
6	自分の住んでいる地域や世の中にとって役に立つ	19%	12%	14%	14%	9%
7	その他	0%	1%	2%	0%	1%
8	特にない	11%	20%	8%	13%	25%

問14 あなたは今住んでいる地域（地元）が好きですか。次の中から、一つだけ選んで○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	好き	77%	44%	44%	38%	45%
2	どちらかといえば好き	15%	24%	29%	24%	25%
3	あまり好きではない	1%	12%	7%	6%	2%
4	きらい	0%	1%	2%	3%	1%
5	何とも思わない	6%	15%	15%	24%	19%
6	わからない	2%	5%	4%	6%	8%

問15 あなたは、これまでに、次のような活動に参加したことがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	地元のお祭り	85%	84%	86%	81%	86%
2	地元のスポーツやレクリエーションの大会など	37%	28%	32%	49%	36%
3	地域の清掃（道路のそうじなど）や防災（避難訓練など）などの活動	41%	28%	34%	33%	38%
4	地域の声かけ・あいさつ運動	12%	8%	8%	13%	9%
5	公民館や児童館、青年の家などの催し	16%	10%	14%	18%	16%
6	外国人との交流・国際交流などの活動	7%	5%	3%	13%	4%
7	募金やリサイクル活動などの手伝い	17%	19%	17%	13%	16%
8	近所の年下の子供たちの世話	21%	19%	19%	29%	17%
9	その他	2%	1%	1%	0%	0%
10	特にしていない	8%	5%	8%	7%	9%

問16 あなたが住んでいる埼玉県のことについて、他の都道府県の人に、自慢や紹介するとして、どんなことだと思いますか。

	1	2	3	4	5
1 自然や風景	23%	17%	22%	13%	13%
2 食べ物・名物	42%	35%	44%	40%	36%
3 名所や歴史的な建物	17%	19%	18%	19%	12%
4 名産・特産品	28%	18%	22%	18%	24%
5 街並み・都市	11%	5%	14%	10%	6%
6 祭り・伝統芸能	24%	23%	14%	15%	21%
7 アミューズメント施設	27%	19%	25%	31%	23%
8 スポーツ	21%	19%	16%	39%	22%
9 偉人・有名人・著名人	6%	9%	12%	10%	8%
10 気候・風土	10%	10%	9%	4%	6%
11 アニメや映画の舞台	41%	43%	44%	60%	36%
12 その他	2%	2%	2%	3%	3%
13 わからない	5%	15%	9%	7%	19%

学校外の体験活動に関するアンケート調査(中学生)

(問18「大人になったらどこに住みたいか」によるクロス集計)

		問18				
		今住んでいる地域	東京都心	その他の国内の地域	外国	わからない
問1 あなたの性別を選んで、○をつけてください。		1	2	3	4	5
1	男	20%	15%	18%	11%	34%
2	女	22%	20%	16%	9%	32%

問3 あなたは今住んでいる地域に、どのくらいの間、住んでいますか。次の中から、一つだけ選んで○をつけてください。

		1	2	3	4	5
1	1年未満	1%	0%	0%	2%	2%
2	1年以上3年未満	4%	4%	4%	8%	2%
3	3年以上5年未満	3%	6%	7%	4%	4%
4	5年以上10年未満	22%	21%	25%	30%	22%
5	10年以上	71%	69%	64%	56%	69%

問4 あなたが、今、参加しているクラブや団体、教室などがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください

		1	2	3	4	5
1	学校の部活(運動部)	73%	74%	75%	68%	76%
2	学校の部活(文化部)	23%	19%	20%	15%	18%
3	子ども会	3%	2%	1%	1%	3%
4	スポーツ少年団	5%	4%	4%	11%	6%
5	水泳やサッカーなどの企業が行っているスポーツ教室・クラブ	9%	10%	13%	16%	15%
6	ガールスカウト・ボーイスカウト	1%	1%	0%	2%	0%
7	学習塾、予備校など	59%	58%	53%	60%	56%
8	ピアノや習字、絵画、英語教室などの教室・おけいこごと	21%	21%	20%	16%	21%
9	その他	2%	5%	4%	0%	4%
10	特に入っていない	1%	2%	1%	2%	1%

問5 学校の授業や行事以外の体験活動に参加しましたか。あなたが参加した体験活動の種類について、平成24年と平成25年に参加した回数を、記入してください。

		1	2	3	4	5
1	自然体験	20%	21%	17%	26%	18%
2	仕事体験	21%	24%	24%	26%	21%
3	生活体験	14%	12%	13%	14%	13%
4	伝統芸能体験	13%	10%	17%	16%	11%
5	文化芸術体験・スポーツ体験	16%	20%	19%	24%	18%
6	社会貢献活動(ボランティア)	23%	26%	23%	19%	21%
7	その他	4%	2%	2%	1%	0%
8	参加したことがない	58%	49%	50%	49%	54%

問6 問5で答えた体験活動に参加した理由は何ですか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください

	1	2	3	4	5
1 自分の興味があることだったから、得意なことだったから	44%	47%	49%	60%	51%
2 自分の知らないことや、やったことのないことを知りたかったから	33%	33%	26%	47%	29%
3 将来の仕事のことや生活などに役に立つと思ったから	33%	31%	22%	32%	28%
4 学校以外の友だちがしてくれると思ったから	5%	6%	5%	28%	9%
5 年の違う仲間や大人たちと親しくなれると思ったから	7%	6%	12%	15%	6%
6 住んでいる地域のことや役に立ちたいと思ったから	24%	19%	16%	6%	11%
7 友だちと一緒に参加するから	42%	35%	38%	23%	30%
8 親やまわりの大人にすすめられたから	27%	33%	33%	38%	33%
9 学校の先生に参加するようにすすめられたから	19%	16%	17%	6%	12%
10 その他	10%	5%	6%	6%	11%

問7 学校以外の体験活動に参加してみて、同じ活動や他の活動にもう一度参加したいと思いますか。その理由を次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 もっと詳しく知りたい・上手になりたいから	56%	46%	41%	53%	46%
2 いろいろなことが知りたい・知らないことをやってみたいから	44%	47%	33%	53%	40%
3 将来の仕事や生活を考えるのに役に立つから	42%	35%	27%	45%	30%
4 学校以外の友だちができたから	8%	10%	6%	30%	14%
5 親や先生以外の大人と親しくなれてよかったから	11%	16%	9%	19%	11%
6 住んでいる地域のことや、歴史・伝統に興味があったから	14%	13%	14%	19%	11%
7 その他	6%	4%	12%	9%	8%
8 もう一度参加したいとは思わない	15%	23%	17%	6%	21%

問8 体験活動に参加する前と参加した後で、自分は何が変わったと思いますか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 自分に自信がついた、自信がついたように感じた	37%	35%	27%	45%	23%
2 社会や経済のことに興味があった	11%	8%	6%	17%	9%
3 将来の仕事や生活のことを考えるようになった	36%	39%	22%	38%	28%
4 地域のことや伝統・文化に親しみや興味があった	23%	17%	20%	19%	11%
5 大人や年上の人と話すのが楽しいと感じた	14%	18%	19%	28%	18%
6 友だちやまわりの人と協力して、何かすることが楽しいと感じた	32%	36%	38%	34%	25%
7 友だちやまわりの人への、思いやりを持てるようになった	18%	24%	12%	21%	20%
8 その他	4%	0%	5%	4%	4%
9 特に変わったようには感じない	20%	17%	22%	9%	30%

問9 学校以外の体験活動に参加しなかった理由は何ですか。次の中から、一つだけ選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 どんな活動があるか知らなかったから	40%	45%	45%	52%	36%
2 興味のある活動・やりたい活動がなかったから	22%	19%	20%	17%	28%
3 場所・会場が遠かったから	1%	3%	2%	0%	1%
4 勉強や習い事などで忙しいから	26%	31%	28%	22%	25%
5 友だちや知っている人がいないので不安だったから	6%	0%	1%	4%	4%
6 参加費用（料金）がかかるから	1%	3%	4%	0%	2%
7 親やまわりの大人の都合がつかなかった、または反対されたから	1%	1%	1%	0%	2%
8 その他	3%	5%	2%	7%	5%

問10 学校以外の体験活動に参加しやすくなるには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 どんな活動があるか、インターネットなどで探せる	34%	26%	28%	37%	33%
2 いろいろな種類の体験活動が選べる	41%	49%	48%	54%	50%
3 近くの場所や会場で行われる	47%	54%	50%	41%	52%
4 参加した人の感想や活動の様子（写真や動画で）を知ることができる	13%	30%	18%	15%	17%
5 活動について相談できる人や場所（センターなど）がある	5%	9%	0%	4%	4%
6 無料または安い費用で行われる	59%	55%	46%	52%	46%
7 親や学校の先生がすすめてくれる、協力してくれる	15%	25%	17%	26%	19%
8 その他	6%	3%	5%	2%	2%
9 わからない	12%	9%	12%	9%	10%

問11 学校以外の体験活動の参加者の募集はどうやって知りましたか、または知ることが多いですか。次の中から、あてはまるもの5つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 学校で配られたチラシやお知らせなど	69%	62%	64%	59%	63%
2 図書館や公民館などの施設でのポスターやチラシなど	23%	21%	24%	29%	29%
3 デパートやスーパーなどの施設でのポスターやチラシなど	25%	23%	18%	33%	19%
4 自治会や子ども会、PTA、スポーツ少年団などからののお知らせ、回覧板など	37%	25%	28%	29%	29%
5 新聞、雑誌など	15%	17%	14%	28%	17%
6 インターネットや電子メール	11%	17%	11%	19%	11%
7 友だちから教えてもらった	26%	29%	25%	35%	24%
8 親や近所の大人から教えてもらった	25%	32%	26%	33%	25%
9 学校の先生から教えてもらった	23%	22%	17%	19%	17%
10 その他	2%	4%	3%	4%	2%
11 参加者の募集を見たことがない	7%	9%	9%	8%	12%

問12 今後どんな活動に参加したいですか。次の中から、あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 自分の興味のあること・得意なことを伸ばせる	74%	73%	69%	70%	67%
2 自分の知らないことや初めてのことに挑戦できる	34%	45%	37%	49%	31%
3 将来の仕事や生活に役に立つ	55%	56%	49%	55%	50%
4 学校以外の友だちがたくさんできる	12%	16%	11%	18%	14%
5 年の違う仲間やいろいろな大人たちと知り合える	6%	6%	6%	17%	5%
6 自分の住んでいる地域や世の中にとって役に立つ	20%	13%	15%	14%	15%
7 その他	3%	1%	1%	3%	1%
8 特にない	15%	14%	20%	11%	22%

問14 あなたは今住んでいる地域（地元）が好きですか。次の中から、一つだけ選んで○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 好き	59%	30%	26%	35%	35%
2 どちらかといえば好き	25%	34%	40%	29%	29%
3 あまり好きではない	3%	10%	6%	6%	2%
4 きらい	0%	1%	2%	2%	1%
5 何とも思わない	12%	25%	25%	23%	25%
6 わからない	2%	0%	1%	4%	7%

問15 あなたは、これまでに、次のような活動に参加したことがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

	1	2	3	4	5
1 地元のお祭り	85%	83%	82%	84%	79%
2 地域のスポーツやレクリエーションの大会など	34%	31%	27%	40%	33%
3 地域の清掃（道路のそうじなど）や防災（避難訓練など）などの活動	42%	40%	38%	35%	34%
4 地域の声かけ・あいさつ運動	9%	10%	5%	9%	8%
5 公民館や児童館、青年の家などの催し	11%	13%	14%	17%	8%
6 外国人との交流・国際交流などの活動	2%	3%	2%	14%	5%
7 募金やリサイクル活動などの手伝い	25%	19%	21%	22%	14%
8 近所の年下の子供たちの世話	20%	18%	22%	25%	17%
9 その他	2%	1%	1%	0%	0%
10 特にしていない	9%	8%	12%	8%	14%

問16 あなたが住んでいる埼玉県のことについて、他の都道府県の人に、自慢や紹介するとしたら、どんなことだと思いますか。

	1	2	3	4	5
1 自然や風景	23%	17%	15%	10%	13%
2 食べ物・名物	41%	39%	36%	31%	32%
3 名所や歴史的な建物	16%	15%	13%	13%	13%
4 名産・特産品	13%	12%	12%	13%	12%
5 街並み・都市	12%	12%	10%	11%	9%
6 祭り・伝統芸能	26%	18%	20%	24%	25%
7 アミューズメント施設	21%	36%	22%	25%	23%
8 スポーツ	17%	17%	18%	27%	20%
9 偉人・有名人・著名人	8%	7%	7%	9%	7%
10 気候・風土	9%	7%	7%	9%	11%
11 アニメや映画の舞台	32%	36%	34%	40%	32%
12 その他	2%	2%	2%	1%	2%
13 わからない	15%	16%	21%	23%	22%